

StyleCatcher 用のスタイルライブラリを作成・公開する

Taichi Kaminogoya (mail@2xup.org)

2006-06-16T16:00:13+09:00

CSS Nite Vol.9

001

スタイルシートスタイルの情報を追加する

テーマのスタイルシートファイルの最初に以下のサンプルを参考にコメントを追加します。このコメントが作成したライブラリを読み込みスタイルを参照した時に表示される項目になります。

```
/*  
name: 2 Columns Left  
designer: Taichi Kaminogoya  
designer_url: http://hinagata.biz/  
developer: Taichi Kaminogoya  
developer_url: http://hinagata.biz/  
*/
```

各項目の概要の基本的な項目は以下のようになります。

name

スタイルテーマの名前

designer (StyleCatcher でテーマの詳細を表示した際に Author として表示されます)

テーマデザイナーの名前

designer_url

テーマデザイナーを示す URL

developer

テーマ開発者の名前 (デザイナーと同じ場合があるので、その場合は記入の必要はありません)

developer_url

テーマ開発者を示す URL

002

作成したテーマのプレビュー画像を用意する

StyleCatcher プラグインでテーマを参照した際に表示されるプレビュー画像を用意します。画像は2種類必要で、ルールに基づいた作成が必要になります。各々の概要は以下のようになります。

thumbnail.gif

スタイルライブラリを読み込んだ際に表示されるテーマ一覧、これまでキャッチしたテーマ一覧に使用される小さいサイズのテーマプレビュー画像です。**gif 形式**で、サイズは **横120px・縦84px** である必要があります。また、ファイル名も **thumbnail.gif** でなければなりません。

thumbnail-large.gif

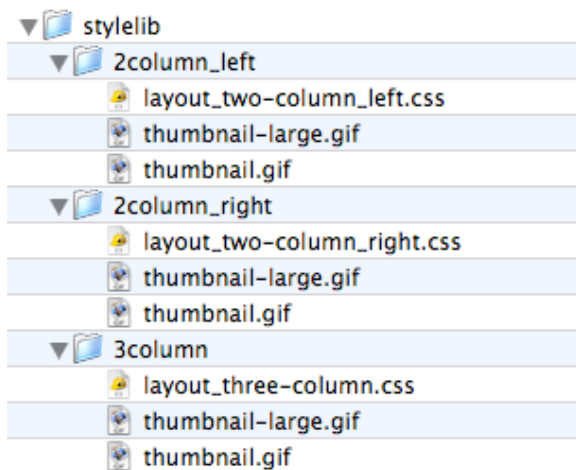
テーマ一覧から、ひとつのテーマを選択し詳細を表示した際に使用される大きいサイズのテーマプレビュー画像です。**gif 形式**で、サイズは **横280px・縦210px** である必要があります。また、ファイル名は **thumbnail-large.gif** でなければなりません。

003

公開テーマのディレクトリ構成

公開するテーマは以下のようなディレクトリ構成で配布する必要があります。

ひとつのテーマは一つのディレクトリにまとめられ、テーマで使用される（CSS ファイル内で指定される）画像は、テーマプレビューの画像ファイルとともに、テーマディレクトリの中に含まれます。



テーマで使用される画像の形式は指定されません。またファイル名も統一する必要はありません。CSS ファイルと同じディレクトリに格納されるので、基本的に指定は以下のようになります (background-image の場合)。

```
body {  
    background-image: url(theme01-image01.jpg);  
}
```

004

スタイルライブラリページの作成

スタイルシートとプレビュー用画像の準備ができれば、今度はスタイルライブラリとなるページの XHTML ファイルを作成します。ページの内容は自由に作成していただいて問題ありませんが、link 要素でテーマスタイルシートの URL を指定する必要があります。以下にサンプルを示します。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Transitional//EN" "http://www.w3.org/TR/
xhtml1/DTD/xhtml1-transitional.dtd">
<html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" xml:lang="ja" lang="ja">
  <head profile="http://www.w3.org/2003/g/data-view">
    <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=utf-8" />
    <meta name="description" content="HINAGATA の Style Library です" />
    <meta name="dc.title" content="HINAGATA Style Library" />
    <title>HINAGATA Style Library</title>
    <link rev="made" href="mailto:mail@2xup.org" title="上ノ郷谷太一 メールアドレス" />
    <link rel="theme" type="text/x-theme" href="http://2xup.org/stylelib/2column_left/
layout_two-column_left.css" />
    <link rel="theme" type="text/x-theme" href="http://2xup.org/stylelib/2column_right/
layout_two-column_right.css" />
    <link rel="theme" type="text/x-theme" href="http://2xup.org/stylelib/3column/
layout_three-column.css" />
  </head>
  <body>
    ...
  </body>
</html>
```

サンプルのような HTML を用意し、link 要素で各テーマの CSS ファイルの URL へリンクします。この作業はスタイルライブラリを公開するにあたり、とても重要になります。link 要素一つではエラーになってしまう可能性がありますので、複数用意する事をお勧めします。

スタイルライブラリとしては、ページの内容 (<body> </body> にコンテナされるコンテンツ) が無くても機能します。